

令和6年度 第7回 いいだ未来デザイン会議 会議資料及び議事録

令和6年8月6日
丘の上結いスクエア 2階 ムトスぷらざ
多目的ホール及び会議室A～D

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちづくりを進める
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標2 ・ 基本目標4 ・ 基本目標9 ・ 基本目標10
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 1班
- 分散会メンバー : 小林委員 / 前島委員 / 永井委員 / 遠山委員 / 石神委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから					持続可能な社会を創造するための4つの視点から				
No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を変えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員	No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	20地区の特色の支援			石神委員	1	あくまで住民を主体にしているところ			石神委員
2	地域の自然文化への関心			石神委員	2	地域DIY（地域の課題は地域で）			永井委員
3	飯田の魅力を市民と共有			石神委員	3	自治会の大事は、まず子どもを育むこと			永井委員
4	地域のつながりの再構築			小林委員	4		人が大事だけど、だれが音頭をとるのか		永井委員
5	学び、交流の場への支援			小林委員	5		丘の上はりんご並木ばかりではないはず		永井委員
6	一人ひとりの行政への参画			小林委員	6	20地区田舎に還ろう戦略			遠山委員
7		子育て支援		小林委員	7	A A R			遠山委員
8	移住定住の取組			前島委員	8	関係人口			遠山委員
9	地域の学びを支える			前島委員	9				
10	地域のつながりの再構築			永井委員	10				
11	学習や支援を推進			永井委員	11				
12	自治会活動、ムトスの精神			永井委員	12				
13		地域資源を活かして人が呼び込めるか		永井委員	13				
14		街の賑わいづくり (朝市もマンネリ化、出店・参加者の減少)		永井委員	14				
15	20地区田舎に還ろう戦略			遠山委員	15				
16		20地区田舎に還ろう戦略		遠山委員	16				
17		情報発信		遠山委員	17				
18		地域人づくり		遠山委員	18				

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	「誇り」、「愛着」というキーワード		・地区内の人間関係やつながりの濃さは良いところでもあるが、移住定住の障害、足枷になる可能性もある。多くの場合、役の負担は、移住定住の足枷になる。再構築という言葉も記載されているが、今の人たちの行動特性や性格など実態を把握し、見直しや転換が必要。	石神委員
2		「誇り」の持つ意味（信頼関係の基礎）	・人をつなげることは難しいが、共通の「誇り」を持つことで関係性が築かれる。「誇り」は外から言われたいと持ちにくい。 ・それぞれの住民が地域外からの声を聞くことや想像力を発揮して地域外の視点から地域内を見る目を持つことが必要。	石神委員
3		「愛着」はどうしたら生まれるか（もの、こと、ひと） 幼少期の愛着はどう形成されるか	・「愛着」を持っている人の中にも何もしない人がいる。「愛着」を持てばいいというものではない。「愛着」を持ってやる人、「愛着」はあるがやらない人、無関心な人の3段階があり、実態を見ることが必要。活動に関心を持ってもらうことが大事だが、活動が目的になってはいけない。まずは「愛着」を持ってもらい、活動につながる事が大事。	石神委員
4	持続可能なまちづくりの取組		・自治会活動は、高齢者は役が担えず辞めていき、若者は入らない状況があり、縮小傾向にある。未加入世帯には、自治活動の声がかからず孤立し、災害時や環境衛生に係る維持活動に影響がある。仮に自治会を抜けても地域に関わる仕組みが必要。 ・各地区には、地区で考える役と行政からおりてくる役がある。役を担うことの負担は、若者が飯田に住む足枷になることもあるため、行政も一緒になって考えていくことが必要。 ・鼎地区では、新居を建てる際に自治会に入ることが条件だった。自治会加入は個人の意志であるため、いかがかと思う。	永井委員
5	ムトスの精神による市民活動		・住民がムトスの精神で行いたいことに対して、財政的支援、公民館等場所の提供などの支援が厚いところが良い。継続してほしい。	永井委員
6		情報発信	・アピールが弱い。興味がない人にも伝わるよう上手に広報し、みんなで手を携えて地域を作ってきたい。	永井委員
7		人形劇を大事にしたい		永井委員
8	20地区田舎に還ろう戦略（取組は良いと思うが、内容の改善は必要）		・移住定住に係る取組は、今後も力を入れて中心に考えていくべきこと。 ・地区に対するふるさと納税の事業（飯田市20地区応援隊）は良い事業だと考えるが、地区によって納税件数、納税額、取組にもばらつきがあり、市民でも知らない人も多い。	遠山委員
9	移住定住、若者に選ばれる地域		・どう具体化するのが難しいところだと感じる。	遠山委員
10		情報発信（必要だが、やり方が大切）	・全国に向けた（外向けの）情報発信も市民へ向けた（内向けの）情報発信も弱い。例えば、学園構想も地区には落ち込んでいない。	遠山委員
11		自治会加入、担い手不足		遠山委員
12	地域のつながりの再構築		・自治会に加入することで担う役が多いことは、飯田の良さでもあり、足枷でもある。	小林委員
13		子育て支援	・自治会の中で一番大事なことは、子育て支援だと思う。大人の都合だけで物事を決めるのではなく、こどもにとって何が一番大切な、こどもの育ちを真ん中に考えている。 ・資料は、まとまっているが数多く頭に入らない。もっと単純にできないか。 ・愛着を持って地域に住み続けてくれる人を増やしていきたい。	小林委員
14	移住定住の取組		・実家は上村地区にあるが居住は地域外という方で、高齢になったため実家を壊したいという相談が増えている。家を壊してしまうとつながりが切れてしまう。つながりを切らさないためにどうしたら良いか苦慮している。	前島委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : 住民同士の助け合いによる地域づくりを進め、安全・安心な暮らしを実現する
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標8 ・ 基本目標9 ・ 基本目標12
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 1班
- 分散会メンバー : 小林委員 / 前島委員 / 永井委員 / 遠山委員 / 石神委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから

No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を变えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	自治の重要性の認識			石神委員
2	社会インフラの強靱化			石神委員
3	住民同士の助け合い			石神委員
4		消防団の在り方	消防団の在り方自体の検討が必要	石神委員
5		予防、発災時の対応、避難所運営、復旧のフェーズごとに考える		石神委員
6	自助・共助・公助の取組			小林委員
7		老人の一人暮らし、コミュニケーション		小林委員
8		負担のない組合加入		小林委員
9		水とトイレ		小林委員
10	地域のつながりの再構築			永井委員
11	「自助」、「共助」の力を高める			永井委員
12		自治会未加入者の対応		永井委員
13		情報発信		永井委員
14	自助・公助・共助			遠山委員
15		消防団		遠山委員

持続可能な社会を創造するための4つの視点から

No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	持続可能性のうえで大変重要な項目を大きく取り上げている点			石神委員
2		公共的なものについての行政と市民の役割を再構築		石神委員
3	自助・公助・共助			遠山委員
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1		タイトルは「住民同士の助け合いによる・・・」となっているが、自助、公助の部分は。特に自助が大事となっているが。		石神委員
2		「公助」→「行政助」では 公助の概念転換こそ飯田だからできることでは	・PTA、消防団、自治会の担い手不足、負担の課題は都会と同じ。「公」を誰が担うかの発想を転換しないと解決は困難であり、活動の在り方を変えなければいけない。 ・予防は公助でもできるが、発災時には、まずは自助、次に共助である。 ・「公助」と「行政助」は区別したほうが良い。行政におまかせであるインフラ整備などは「行政助」であり、みんなでやる「共助」が「公助」である。	石神委員
3	共助－近所－組合		・住民同士の助け合いは、災害時だけでなく独居高齢者のゴミ出し支援など日常の中にも多くある。 ・災害時は、隣近所が一番大切であり、地域の中でお互いを良く知り、助け合えることが大切。近所との会話がなくて健康にも良くない。役を担わなくて良くするなど少しでも負担を減らして組合を維持することが必要。	小林委員
4		水とトイレ	・能登半島地震の教訓から、災害時のトイレ設備を常備してほしい。街中は水とトイレがすぐダメになってしまう。	小林委員
5		「公助」の考え方を考えることにより、「共助」でなくなる	・「公助」の考え方を考える。災害が起きる前から行政が準備しておけば、共助ではなく公助になる。例えば、24時間駆動のバッテリーを搭載した携帯電話のアンテナをたくさん建てることで、市に状況を伝えることができ、初動対応の方法を指示してもらうことができる。地域の実情に即した初動対応を「共助」として地域で考えるのではなく、「公助」として行政と一緒に考えて考えることが必要。	前島委員
6	住民同士の助け合い、支え合い（非組合員も取り込む）		・近所の非組合員も含め声を掛け合い、状況を分かり合うことを期待する。	永井委員
7	こどもたちに対する防災学習、犯罪被害防止等 幼保・小は自分で自分を守る、中高生は他者を守る（ボランティアなど）力となる。		・こどもに学習をさせたい。それぞれの段階に応じてできること、気を付けたいことを伝えるべき。	永井委員
8	水害、土砂崩れ、地震、火災			永井委員
9		消防団の維持・向上、活動の見直し	・なくなつては困る。	永井委員
10		独居老人		永井委員
11	自助・公助・共助のバランス			遠山委員
12		消防団の活動の見直し	・消防団の活動の見直しを真剣にする時期に来ている。消防団活動がジリ貧になっている状況がある。実際の火災発生時には、自身の有休を取得して消火活動にあたっている団員もいる。団員確保するためには、消防団活動の意義を感じてもらうことが必要。自分たち消防団員も意義を伝えていくが、行政からも地域に発信してもらいたい。 ・「本当に必要な活動は何か。」を再検討する。若手中心に操法大会や出初式に疑問を持つ団員もいる。必要性を再検討し団員に落とし込むとともに、活動を整理することで団員確保にもつながる。活動の意味に理解を得られなければ団員確保は難しい。	遠山委員
13			・上村地区では、消防団員（実働？）が5人くらいしかいない。地区の住民は、保険が対応していないため有事の際には手伝えない。	前島委員
14			・「公」の概念をガラッと変える先駆的な計画をつくる。これは飯田だからできること。市民が「公」を担っていることを、市全体で難しければ地区ごとでも計画に位置付ける。そのためには、PTAや消防団などの活動を徹底的に見直す。そのくらいの時期に来ている。	石神委員
15		会議後・・・	・「歴史」という言葉が少ない。 ・創る視点の中に「文化を創る」視点が抜けているのでは。	石神委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : 飯田(ここ)で育って・育ててよかったと実感できるまちづくり
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標3 ・ 基本目標4 ・ 基本目標5 ・ 基本目標6
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 2班
- 分散会メンバー : 三浦(弥)委員 / 牧島委員 / 山上委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから					持続可能な社会を創造するための4つの視点から				
No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を変えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員	No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	妊娠・出産・子育ての経済的支援			三浦(弥)委員	1	こども・若者の意見を反映	でも、ないものは知らない		三浦(弥)委員
2	障害者支援・相談センターの検討			三浦(弥)委員	2		他の環境に触れてはじめて 知ることになる		三浦(弥)委員
3	地域の交流 (大人と子ども・若者)+大人同士・子ども同士・若者同士 こどもの貧困 (体験・経済の貧困)			三浦(弥)委員	3	育ってよかった	ムトスの学び 再確認が必要		牧島委員
4	学園構想 (地域で教育を共有できる。自分たちのこととしてかんがえることができる。)			三浦(弥)委員	4	こどもの居場所	小中一貫教育、学園構想 市民に浸透する必要		牧島委員
5	こども・若者の意見を聴く			牧島委員	5	こども・若者とのつながり	子育て支援、学校施設、動物園等財政的裏づけが必要		牧島委員
6	障がい児・者への途切れない相談・支援			牧島委員	6	大人、こども・若者、地域とつながり交流	具体的なことから広げていく	・つなぐ、つむぐ、つどうにつながる。非常に重要である。具体的に更に煮詰めて考えていく必要がある。1つのことから段々と広げて考えていけると4つの視点にも入ってくる。この視点はすごく重要だと考えていきたい。	山上委員
7	保育 民間の力を活用			牧島委員	7	地域全体でこどもを育み 学び体験機会の提供	つむぐ、つどう 市民理解の促進	・つむぐ、つどうに関係してくる。「地域全体で」というのがポイントになる。そういう地域をどう醸成していくのか。市民の皆さんにどう理解していただくのが今後の課題である。	山上委員
8	途切れない相談支援体制の継続検討		・途切れない相談体制がまさに理想、求めているかといけな いところ。ここをポイントに していくことが大事	山上委員	8	妊娠期～ニーズに応じた相談 寄り添い途切れない体制構築	多様なニーズ 様々な資源、制度 つなげていく連携体制 “途切れない”	・いろいろなニーズがある。一つの資源だけではどうしようもない。様々な資源や制度をつなぐ連携体制、途切れないようにしていくにはどういったものが必要なのか今後の課題である。	山上委員
9	こどもの貧困 経済、体験経験		・経済だけでなく、体験経験もあるということをおく て視点は非常に重要。今後具体的なものに反映していけると良い。	山上委員	9				
10	地域に関心、主体的に考え行動できる人材育成		・いろいろな分野ですごく重要である。この部分に視点を置くことは非常に重要。「地域で」と考えたときに1番ポイントになる。	山上委員	10				

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	若者の意見を聞き活かすサイクルをつくる	こどもの時に「こうあったらよかった」という若者の意見で環境を整えるといった具体的な内容があってもよいと思う	・若い人たちの意見を聞いて活かして、活かされていると感じられるサイクルを作ることとはとても大切。こどもや若い人、特にこどもは、目の前にない環境のものは知らないで、そういった意見が持てないことがある。飯田を離れて初めて「こういうものがあるんだ」と気が付いた時にはこどもや若者でなくなっている。若い人たちがこどもの時にあったら良かったという環境に耳を傾け、具体的にこういうものがあつた良いというものに、向き合っていくと良い。	三浦(弥)委員
2	地域の交流（孤立を防ぐ、活力を生むに繋がる）	教育環境の選択肢（幼少期～高等教育）の充実（学校・学習塾など）	・高等教育だけではなく、幼少期から高等教育まで学校や学習塾をしっかり充実させていくと良い。飯田から出てから、飯田にあったら良かったのと思うのではなく、飯田にいても同じ教育水準のサービスが受けられる選択肢がある環境作りが大事。 ・孤立を防ぐ、地域の活力につながるといった部分でも、大人とこどもや若者、大人同士、こども同士（こどもも少子化になってくると交流するにはある程度支援が必要。）、若者同士（知り合って結婚をする。知り合うことがなかなか大変であり、交流が大切。）などの地域の交流が大切である。	三浦(弥)委員
3	妊娠～出産・育児一生涯に渡る支援		・障がい者福祉も含めて、センターの検討も引き続き大切にしていくべき。	三浦(弥)委員
4	こども・若者の意見が政策に反映	スポーツは大切、文化芸術にふれる機会も人形劇は大切	・こども・若者の意見を政策に反映することはすごく大切。もしこういったことが注目されると、この地域の優位性が出てくる。今若者たちが投票に行かないが、政策に反映されれば投票にも行く。先進的な地域になる一つのキーワードだと思う。ぜひやっていただきたい。具体的にこういうことが若者の意見として取り上げられたんだとPRすることが必要。 ・スポーツは検討しなくてはいいし、スポーツもとても大切だが、一方で文化芸術に触れる機会もとても大切。スポーツも文化活動の一つである。人形劇はNHKで取り上げられるものなので、ヒントになるのではないかな。もちろんフェスタ自体も大切にするが、文化系のもを飯田で盛り上げていくことが大事。	牧島委員
5	デジタル技術も活用して気軽に	地域や保護者が一緒に取り組む学園構想具体的に推進するには	・デジタル技術を活用して気軽に相談できる環境はとても大事。限られた人材でやっていかないといけない中で、全て対面でやっていくことはとても難しい。若い人たちはカジュアルな相談体制を好むかもしれない。デジタル技術を活用し、技術を高めていくことが必要。 ・地域と保護者が一緒に取り組んで地域のこどもを大切に育てていこうという発想はものすごく大切だが、担い手がとても不足している。公民館活動をやっているが、こなしていくだけで精一杯。後継者がいない。自分も今の役が6年目。代わりの人がいなくて困っている。その中で、どうやったら若い人たちも含めて、公民活動や学校の運営活動に関わってもらえるか考えていかないといい重要な岐路に立っている。	牧島委員
6	発達段階に応じた系統的生き方教育、ふるさとに愛着	通学路安全対策・公共施設整備には財源が必要	・ふるさとに愛着をもってもらえることがものすごく大事。外に出て行くにしても、飯田の良さ「飯田って素晴らしいところだったんだよね、良いところだったんだよね」ということで外に出て、何かの折には帰ってくる。飯田の良さを出て行った地域でも伝えてほしい。もちろん残ってもらうことも大事だが、全部残れと言っても無理。関係者人口というか、飯田のファンとしてまた別の地域で活躍してほしい。 ・通学路の安全対策や公共施設の整備は喫緊の課題だと思うが、限られた財源の中でどのようにしていくのか。どこに優先をつけていくのかとても大切。財源の確保も含めて中心にお願いしたい。	牧島委員
7	地域社会からの孤立、あたりまえに進めない、多様な課題に対して体制を構築していく	ネットワークの構築分野を超える		山上委員
8	大人・子ども・若もののつながり、助け合いができる地域	地域の取組としてが重要か	・地域の取組として、どういったことが重要なのか。地域の人たちがどのように対応していくのか。	山上委員
9	主体的に考え行動できる人材 育成 活動の展開	小地域単位での取組が有効では	・20地区それぞれに地域性や生活が違う。小地域単位でみる視点が大事。ここから具体的なものになっていったときに、地域性に合わせる視点が必要という点が課題になる。	山上委員
10		地域特性、コミュニティスクール、小中一貫、途切れない		山上委員
11		地域全体で子どもを育む。公民館、保護者と活動できるところを目指す。		山上委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み

■関係する現在の基本目標

■いいだ未来デザイン会議担当分散会

■分散会メンバー
- :

:

:

:
- 自然豊かな循環型の社会へ移行する

基本目標1 ・ 基本目標4 ・ 基本目標11 ・ 基本目標13

3班

福岡委員 / 矢澤委員 / 竹内委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから					持続可能な社会を創造するための4つの視点から				
No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を变えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員	No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	「うごくる」を広報、 知ってもらう		・市民権を得る所までは いていない。 ・無関心層へのアプローチ を含めて、広報を充実す べき	福岡委員	1	地産地消・地域内循環			福岡委員
2	新たなリサイクルのしく み			福岡委員	2	エネルギー産業の育成 (長期的)		・エネルギー産業の育成 は、長期的な視点で進 める必要がある。	福岡委員
3	水循環・グリーン水素		・地域に学ぶ場所がない中 で、水をテーマとした 研究協力のチャンスであ ると捉える。 ・地域にとって実を結ぶ 事業になれば良いと感 じた。	福岡委員	3	休耕地の活用		・遊休地の活用は、この地 域の課題として、大きな 部分を占めていると思う ので、是非力を入れて 実施すべき	福岡委員
4		「創エネ」に偏りすぎな い方が良い		福岡委員	4		まちの集約・コンパクト シティ→ 土地利用の濃淡をつける		福岡委員
5		自然環境の調査 まずは知ることが大事		福岡委員	5		防災力 → 危機対応力	・水循環の防災的利用に関 しては「危機対応力」を 高めるといふ表現が適切 か	福岡委員
6	「うごくる」の活動			矢澤委員	6		シビックプライド・か えて来なくなるまちと 環境文化都市は結びつか ない	・市民会議では「シビック プライド」が新しい視点 として重要なキーワード となったが、「環境文化 都市」は出てこなかった と認識している。 ・自分たちが誇れる、帰っ て来なくなるまちの理由 として「環境文化都市」 が市民定着していないと 思う。	矢澤委員
7		省エネ・創エネ 蓄電設備・電気自動車の普及	・物価高騰等で暮らしてい くのにお金に係る状況下 で、補助金があるとはい え、「環境に良いから」 という理由で、発電設備 、蓄電設備、EVを一般 家庭の市民が手を出すの か。結びつくのかどうか は難しい課題	矢澤委員	7	コンパクトシティ → エネルギー削減			竹内委員
8	「うごくる」の活動活動 は深化させるべき			竹内委員	8	生物多様性、自然資本を 生かし残す			竹内委員
9	蓄電設備・電気自動車等 の普及			竹内委員	9		公共交通の充実が省エネ につながるかは疑問		竹内委員
10	信大との連携は今後の地 域の核になり得る			竹内委員					
11	生ごみ出しません袋の取 組など先進的			竹内委員					

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	新たなリサイクルの仕組み → 長く使う、修理する ごみの減容		・ごみは無駄担っている部分が非常に多い。 ・エネルギーを使って無理矢理処理している部分をなんとか良い方向に向かわせることができないかという、期待する、大切な取組 ・特に、生ごみは大きな課題の一つであると認識しているので、ここへの取組の強化を	福岡委員
2	地産地消・地域内循環		・地域内循環の仕組みを含め、地域で何かしらの工夫をしていくことは、持続可能性を高めていく上で非常に重要な視点	福岡委員
3	ネイチャーポジティブ		・新しい言葉で勉強しなくてはならないが、環境調査をするのとあるが、まずは、私たちが「知る」ということが大切になってくる。	福岡委員
4		「創エネ」に偏りすぎず、バランス、長期の視点で	・「創エネ」に偏り過ぎていてと感じる。 ・「創エネ」は政策としてはやりやすい政策ではあるが、エネルギーはバランスが大切である。長期の視点に立った時に、太陽光発電はどれほど必要なのかといった視点、国、県や少し広い地域を俯瞰して見てバランスを見た場合に、本当にこの地域にどの程度が必要なのか、今、投入すべきかは、議論が必要ではないかと感じる。 ・蓄電池もそうであるが、技術的な進歩を見ると、今入れるべきなのかも精査する必要がある。	福岡委員
5		まちの集約をどのように集約するか。防災、省エネの視点で	・視点としてコンパクト化して行く視点は大切だが、ただ集約する、ただ1カ所に集めるということではなく、土地利用に濃淡をつけることが必要であると考えている。 ・特に、風水害が起こりうるところにも家が建てられてしまう都市計画は改めるべき。	福岡委員
6	「うごくる」や環境学習など学び、考え、行動する機会を持つ ※やった、集まっただけで終わらない、続いていく視点を持つ ※主語がわかるように、私たちの飯田市など		・「うごくる」というプラットフォームを作り、「学んで」「考えて」「行動する」機会があることは、すごく大事なことで、今後も続けていくべき。 ・「考える」機会、「話す」機会が持てることで、自分が住んで着る飯田市、地域のことを見つめ直す機会であり、他者の話を聞くことで新たな発見、気付きにつながる、「うごくる」がそういう場であってほしい。 ・やりました、集まりましただけではなく、次はこう行くことをしますとう情報発信があると、広がっていくきっかけになるのではないかな。 ・「環境」をテーマとすると「地球」や「世界」が主語になりがちだが、「飯田市」や「私」が主語になるような取組ができると「自分ごと」になると感じた。	矢澤委員
7	省エネとコンパクトシティ		・省エネの視点からのコンパクトシティの発想は大切にしてほしい。	竹内委員
8	エネルギー循環 (グリーン水素、信大との連携、創エネ)		・信州大学との連携は、今後の地域の非常に重要なポジションになってくると思う。 ・グリーン水素を含めた「創エネ」については、課題は多くあるとは思いますが、非常に大切なことである。	竹内委員
9	生物多様性		・ネイチャーポジティブについては、確かに中期計画の中では出てきていなかった新しい視点で、4つの「つなぐ」に由来する大切な視点だと感じる。 ・この地域の自然の豊かさが誇りであると考え、シビックプライドにつながってくる大切な部分であると感じており、この視点は大切にしてほしい。	竹内委員
10		無関心層を取り込みは、ハードルが高い	・「うごくる」は、当行も深く関与させていただいており、意識が高い方々が活発に活動していることは承知しているが、今後は、無関心層の取り込みが重要になってくると感じている。 ・具体的な取組の内容はこれからというところだと思うが、如何にして無関心層を取り込むかは、極めてハードは高いが、市民の行動変容を如何に起こしていくかを含めて、重要なところであると感じた。 ・矢澤委員の発言と同様に、自分で考え・話す、そのことで自分が変わり、周囲も変わると思う。「うごくる」の充実を図ることは、この点からも非常に重要と考える。	竹内委員
11		公共交通の充実 ≠ 省エネ移動	・市民目線で考えた場合に、公共交通の充実を図ると省エネになるというのは、理解が進まないかなと感じる。	竹内委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : 人を育て、呼び込み魅力的な産業をつくる
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標1
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 4班
- 分散会メンバー : 今井委員 / 河野委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから

No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を変えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	地元企業が選択肢となる 取組	中学生から大学生までの 学びを含めた交流		今井委員
2	海外展開	ジャンルを超えて海外販 路拡大の支援		今井委員
3	遠山郷の整備、南アルプス登山 口としての整備やアピール	観光資源の活用、観光客 増加の取組が不十分		河野委員
4	産業人材の育成	・工場誘致よりも中堅企 業の支援強化 ・誘致なら倉庫業が良い のでは		河野委員
5	市田柿の海外展開	・他の農作物に広げる ・規格外は域内で食べ、 良いものは外へ出す		河野委員
6		地元回帰への取組		河野委員
7		質的豊かさのアピール		河野委員
8				

持続可能な社会を創造するための4つの視点から

No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	企業の稼ぐ力を高める	社員の所得増		今井委員
2		域内生産域内発注は多様 性の時代に逆行している		今井委員
3	リスクリング、産業人材 の育成			河野委員
4	エスバードの活用、水素			河野委員
5	人々の絆の強さ			河野委員
6		インバウンドの誘致 (中津川からのバスなど)		河野委員
7		林業のライフサイクル全 体への支援、収益化		河野委員
8		地域通貨の必要性、行政 との連携		河野委員

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	地元企業の稼ぐ力を高める	いいねの補足：社員の所得増も目指す	・会社が儲けて社員の分配されないという意味がないため、社員の所得を増やすことをあえて明記することを補足して、地元企業の稼ぐ力を高めることは良いこと。社員の所得を増やしていないと、人を育てて呼び込むことにつながっていない。	今井委員
2	地元企業が選択肢となる	いいねの補足：学びも含めた中学生から大学生までの交流を増やす	・企業を知ってもらうだけではなく、育てるという視点。社長との交流など中学生から大学生までの交流により人となりまでも伝わるような取組が必要。	今井委員
3	地元企業が選択肢となる	いいねの補足：魅力的な産業・企業の発信の場をつくる (人材・事業性の機会創出)	・産業を作っていく視点も含めて、魅力的な産業・企業を発信して、おもしろい起業やお店があり働きたい場所があるといった情報につなげていき、活性化させていくことが必要。	今井委員
4		地域内経済循環・域内生産域内発注は多様性の時代と逆行している	・もっと外へ向けて産業を盛り上げていくことも必要。外国人労働者など多様性を受け入れることを言っている中で、逆の視点になっていないか。	今井委員
5		海外展開を市田柿だけでなく、各企業が海外販路を持てるようになる機会や学びの場を創出する	・為替や株も動いており、海外販路が有効なものもある。市田柿だけでなく、産業全てにおいて、産業をつくる視点で海外に価値が創出できるような支援や機会が必要。	今井委員
6		旅の目的地として、インバウンド対策を行い、外国人を迎え入れる環境・事業性・プロモーションを構築する	・魅力があるから外国人が来る。産業をつくる視点で、インバウンド対策が必要。	今井委員
7	産業人材、大人教育の更なる進化、取組強化		・こどもが帰ってこないのは飯田市に限った話ではない。産業人材の育成として経営者の教育など、企業の発展や生産性を向上させるための教育を進化させていくことが大切。	河野委員
8	カーボンニュートラルへの取組	収益化	・エスパードで水素に取り組むことはとても良いことだが、儲かることが一番大切であり、儲からないと続かない。儲かる仕組みを作ることが必要。収益化が目途がたたないと投資もできない。	河野委員
9	企業の稼ぐ力を高める	人的投資、農産物の輸出強化	・農業をもっと活性化させる必要がある。桃の輸出も行っている。売れるものを積極的に支援していくことが必要。	河野委員
10		地域の美しさを生かした観光への取組	・インバウンドをどのように持ち込んでくるか。市が考えるよりも外部へ委託するべき。収益化するように考える。中津川まではインバウンドは来ているので交通網を整理する。	河野委員
11		地元中堅企業の支援	・人口は減っていく。小規模事業はなかなか厳しい。人はいなくなってしまうなかで、地元の中堅企業がしっかり儲けられるようにしていくことが必要。	河野委員
12		商業・小売りへの域外からのチャレンジ支援	・丘の上の商店街などに域外から商業、小売店、飲食店などがチャレンジできる仕組みが必要。市が一律同額で借りて、固定資産税を免除するなどしながら貸出をするなどの取組が良いのではないかな。	河野委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : 支えあい、誰もが健やかに、いきいきと暮らすことのできるまち
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標6 ・ 基本目標7 ・ 基本目標8
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 2班
- 分散会メンバー : 三浦(弥)委員 / 牧島委員 / 山上委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから

No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を变えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	介護予防	効果的なものを見極める		三浦(弥)委員
2	生活習慣病予防			三浦(弥)委員
3	医療の確保			三浦(弥)委員
4	世代や福祉分野を超えて つながり			牧島委員
5	アウトリーチによる伴走 型支援体制の充実			牧島委員
6	積極的な社会参加 → 健康寿命の延伸			牧島委員
7	多様化、複雑化課題包括 的相談体制			山上委員
8	民生委員、健康福祉委員 員負担軽減			山上委員
9	デジタル技術の活用			山上委員
10		保健、医療、福祉関係		山上委員
11		役割の見直し、資源開発		山上委員
12		普及方法の検討		山上委員
13				
14				
15				
16				

持続可能な社会を創造するための4つの視点から

No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	移動手段			三浦(弥)委員
2		環境の整備		三浦(弥)委員
3	差別のない町(差別・虐待)			三浦(弥)委員
4	やりたい気持ちを引き出す 高齢者、障害者、健常者 も			三浦(弥)委員
5	働きやすい職場で役割を もって			牧島委員
6	地域や身近に頼れる人が いて			牧島委員
7	公共交通の利便性を高める ことが			牧島委員
8		エッセンシャルワーカー の確保(とても大切どう 施策として具体化するか 課題)		牧島委員
9		圏域全体を見据えた医療 供給体制		牧島委員
10		地域コミュニティの活性化 -とても大切ですが、困 難な課題です(中途半端 な都市化?)		牧島委員
11	移動課題への取り組み			山上委員
12	高齢者の活躍できる場作り			山上委員
13	若い世代のボランティア 活動			山上委員
14		公共交通の普及利用		山上委員
15		受け入れ活動への展開の 促し		山上委員
16		理解促進		山上委員

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくってこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	移動手段の確保（高齢者、障害者、運転免許を持たない若い世代）		・高齢者、障害者のほか、若者との意見交換から運転免許をもたない若い人も交通手段があれば、人と交わることができるという話があった。 ・交通手段があることで、高齢者、障害者の人も出歩くきっかけにもなり、介護予防にもつながる。	三浦(弥)委員
2	脳血管疾患の予防（介護予防に繋がる）		・脳血管疾患は、亡くなることよりも介護が必要になる確率が高いかと思う。検診等に力を入れることで、介護予防につながる。	三浦(弥)委員
3	最期をむかえたい町 安心安全で自分らしく生活できる		・安全安心で自分らしい生活ができたという最期の評価に当たる。	三浦(弥)委員
4		高齢者の孤立と世代間交流 ※是非行政の横の連携で！	・縦割りの中で難しいかと思うが、高齢者の孤立と世代間交流を「こどもたち」という中で、横の連携を行ってほしい。	三浦(弥)委員
5		差別のない町+環境、バリアフリー整備 車いすが移動できる歩道 → 健康者も歩きやすい	・若者との意見交換の中で車いすの方や目の不自由な方が安心して移動できる歩道がない、という話があった。障害者、高齢者が動きやすいということは、健康者にとっても動きやすいという環境だと思う。そのため、環境の整備が必要。環境の差別がないことで、誰もが地域の行きたいところに行くことができることで、介護予防につながるのではないかと。予算の1割を介護保険に充てているという話もあることから、予防できるという話ではないか。	三浦(弥)委員
6	高齢者も一緒に地域のこどもを地域で育てる 高齢者が地域・社会で役割を持ち		・高齢者が地域のこどもの育成に参加したり、障害者が地域・社会で役割を持つことは大事であり、健康寿命につながるかと思う。役割がなく、人とつながることがなくなると高齢者にとっては、ダメージになる。	牧島委員
7	健康増進の取組 生活習慣整えることの重要性を発信		・若いうちから気を付けていないと健康寿命につながっていかない。	牧島委員
8	担い手の確保や従事者の離職防止		・目を向けていただき、ありがたい。	牧島委員
9		市民の孤立を防ぐため多様な主体が連携するための施策は	・方法を考えているか、これから構築していくのか。 →（福祉部長）重層的支援体制整備事業に令和3年度から取り組んでいる。この制度は様々な関係者を集めることができる制度。この仕組みの中でつながることができるのではないかと。実際につながることは難しいこともあるが、この制度は、集まるための旗振り役があり、この枠組みを使ってつながることができる。	牧島委員
10		「障害者が地域で安心して」に加えて「社会参加」もあれば尚良い	・就労できる環境が必要。身体障害の方の受け入れは、地元の企業が積極的に行っているが、精神障害の方の理解や受け入れが進んでいない状況。	牧島委員
11		高齢者の移動手段確保は、飯田の地理的条件から喫緊の課題ではないでしょうか。	・飯田の地理的条件から考えても喫緊の課題 ・高齢者のみの世帯は、どうやって買い物し、医療機関に雇っているか、地域と繋がっているか。色々な移動手段を提案していかないといけないのではないかと。	牧島委員
12	エッセンシャルワーカーの確保、行政の側面支援、取り組み	法人努力だけでは限界。育成確保 飯田に来てくれる主体的に考え、取り組む人材育成	・行政の側面支援、取り組みを記載いただいたのは心強い。 ・法人努力だけでは限界を迎えている。育成、確保にしても飯田下伊那だけで完結できない状況。 ・飯田に来てくれる、住みたいという人たちがこのような担い手になってもらえる人がいれば。	山上委員
13	地域課題の解決、民生委員、健康福祉委員の負担軽減	コーディネーターの役割 民生委員、まちづくりだけに負担させない、福祉活動団体、ボランティア活用 改めて何をしようか整理 デジタル化？	・民生委員、健康福祉委員はこなすので精一杯。後継者不足が問題であり、継続が困難。 ・従来の役割を整理することが必要。整理の仕方も考えなければいけない。 ・民生委員、まちづくり委員に負担を大きくさせないことは重要。 ・若者がつながることに絡んでくることかと思うが、ボランティア活動が行われることで、福祉活動団体が生まれてくる。ここに重点を置きたい。 ・地域資源、つながり、助け合いというところが強固になってくるのではないかと。	山上委員
14	包括的相談体制の構築	つなげる継続、ネットワーク化 分野を超えるそれぞれの理解	・相談へつなげていく、継続するネットワークがポイント。 ・連携事例もあるが、広めていくことが重要。	山上委員
15	健康づくり 青壮年期から健康づくり ※個人的な意見として	健康づくりに関心を持つ 100歳まで元気で暮らせるか	・100歳まで生きられるという話があるが、「元気に」というわけではない。「元気で生きられる」というところがキーワード。 ・高齢に近づく前で行わないと遅い。 ・ジム、ヨガなど体作りに関心を持っている人が周りにいる。全国的なブームもあるが、若いうちから、あらゆる視点で健康を考えることをやっていくといいのではないかと。 ・こどものうちから「興味を持って」、自然と体を動かすことができる環境づくりが必要。	山上委員

いいだ未来デザイン2028後期計画における『基本目標の枠組み』に対する意見のまとめ

～ 中期計画3カ年の振り返り・持続可能な社会を創造する4つの視点から ～

- 基本目標の枠組み : リニア・三遠南信道時代に向けた都市基盤をつくる
- 関係する現在の基本目標 : 基本目標13
- いいだ未来デザイン会議担当分散会 : 3班
- 分散会メンバー : 福岡委員 / 矢澤委員 / 竹内委員

いいだ未来デザイン2028中期計画3カ年の振り返りから					持続可能な社会を創造するための4つの視点から				
No.	いいね (評価できる、 引き続き取り組むべき)	今後の課題 (視点を変えて、 効果が無いならやめる)	発言要旨	意見提出 発言委員	No.	いいね (意見が反映されている！)	今後の課題 (この視点は大事だと 思うけど…)	発言要旨	意見提出 発言委員
1	デジタル技術の活用			福岡委員	1	便利に整備されていくであらう中で、置いてけぼりになるかもしれない人たちに向けて視点を持っている			矢澤委員
2	持続可能な公共交通			福岡委員	2		デジタル化、DXの位置づけ		竹内委員
3	次世代モビリティ			福岡委員					
4	準備ができることと、様々な事情でどうしようもない中で、世の中がめまぐるしく変わっていくスピードを捉えながら、踏ん張っていただいているのがわかる			矢澤委員					
5	リニア関連については、まさしくこの通り			竹内委員					
6	持続可能な公共交通の構築			竹内委員					
7		DXについては、補足の ような感じがしてしまう。		竹内委員					

「基本目標の枠組み」から基本目標を構築する際に大切にすべきこと3カ年の振り返りから

No.	いいね (継続すべき、意見が反映されている、大事だと思う)	今後の課題 (この視点は大事だと思うけど…)	発言要旨 (そうじゃなくてこういうことでは、この視点は大事だと思うけど…)	意見提出 発言委員
1	デジタル技術の活用		・ A I の技術は進歩している。 ・ 現段階では、活用の範囲が狭いかもしれないが、あらゆる分野でデジタル技術を活用できるようになるので、積極的に活用していくべき。	福岡委員
2	持続可能な公共交通		・ 都市機能の最適化を図りながら、インフラの必要性を精査する時期に来ており、その必要性を強く感じている。	福岡委員
3	次世代モビリティ		・ 技術革新を含めて、公共交通そのものがどう利便性の高いものになるのかを楽しみにしている。	福岡委員
4		次世代の上水・下水道(分散+集中)	・ 課題とまではいかない上に、この枠組みに入るかどうかかわからないが、信州大学の水循環の技術と上下水の事業を関連付けて、膜技術を利用して水処理の分散化は考えられないか。 ・ 特に、上水道においては、水道管の劣化は非常に大きな課題となっていることを考慮すると、膜技術を利用した次世代型の公共インフラの在り方を検討してはどうか。	福岡委員
5	様々な事情が絡み合う中でも気持ちを途切れさせず、開通に向け取り組んでいく姿勢を持ち続けていきたい。		・ リニア中央新幹線や三遠南信自動車道に関しては、市役所ではどうにもできない事情はほとんどだと感じる。 ・ 開通時期が10年伸びても、私としてはシンプルに楽しみだし、ワクワクしている。リニア中央新幹線が通らなくなったわけではない、自分のこどもの将来も含めて、リニアが通ったら…と夢を描ける。そういう、未来に向かった前向きな意見も聞いてもらい引き続き、応援したい。 ・ 世の中がすごいスピードで変わっていて、いろいろな事情が絡み合っている中で、踏ん張っていただいていると思う。市民の機運を下げないという取組もあるが、市役所で、リニア中央新幹線に関わる職員の皆さんの機運が下がらないように、応援したい。 ・ 新たに、持続可能な社会の構築や誰一人取り残さないという視点が加わる中、誰も置いてきぼりにしない視点は非常に大事であり、そこへの配慮もされており良いなど感じている。	矢澤委員
6		整備して新たに形成されていく中で残すもの、整備してはいけ ないものを市として大切にしてほしい。	・ リニアのまちづくりの中で、新しく整備されるものもあると思うが、飯田市として残したいもの、大切にしたいもの、新しくしてはいけないものを整理して、守っていくべきものは守っていくべき。作り込むも良いが、あえて整備しないも大事な視点。 ・ 移住者と話す機会があるが、田園風景や谷の風景は、都市部から移動してきた方々には、インパクトがあり、毎日この景色を見て時間を過ごせることが幸せだという方が多い。 ・ 40分かけて都会から抜け出してきたのに、目の前が都会のコピペよりは、飯田らしさが感じられることは大事。	矢澤委員
7	リニア整備については、特に問題ないと思う。		・ リニア中央新幹線に関しては、市としては力を入れて進めてきている中で、開通が10年程度の遅れるとの話であり、苦心される部分が非常に多いのではないかと推察する。 ・ 3年間の振り返りはこの通りだと思うし、今後の取組に関しても記載の通りで特に申し上げることはない。	竹内委員
8		機運醸成に向け、情報発信+語る場をつくるなど	・ 開通が伸びたことにより、機運醸成は重要なポイントになる。 ・ 市からの情報発信だけでなく、自分ごととして考える視点から、市民が語ることができる場、市民の側の発散の場も必要。	竹内委員
9		D Xによる生産性向上をより明確に	・ これまでの市民会議等でもそうだが、D Xは、生産性の向上や人が少なくなることへの対応など裾野が広く、多様な分野で必要になってくることであると捉えている。 ・ この視点から、中期計画において、基本目標13に位置づけがあるので、引き続き、ここに記載があるのかもしれないが、位置づけとしては弱いと感じている。 ・ どのような位置づけが可能か検討すべき。	竹内委員